

教員育成指標の策定等に関する アンケート調査結果

次世代型教育推進センター



独立行政法人教職員支援機構

調査の概要

- ① 調査名称： 教員育成指標の策定等に関するアンケート
- ② 実施主体： 独立行政法人教職員支援機構
- ③ 調査対象： 47都道府県、20指定都市の教育委員会
(回収率：100%)
- ④ 調査期間： 平成29年2月～3月（基準日：平成29年2月1日）
- ⑤ 調査方法： メールによる質問紙調査

協議会又はそれに類するものについて
(以下「協議会」と記載)

- ◆ 「ある」と回答した県市
24県市（36%）

◆構成メンバー（複数回答）

※以下の%の母数は24県市

都道府県・指定都市教育委員会 関係者	24県市（100%）
大学関係者	19県市（79%）
教育センター関係者	18県市（75%）
学校長	18県市（75%）
所管する市町村教育委員会関係 者	14県市（58%）
児童・生徒の保護者	2県市（8%）

◆構成メンバー（複数回答）

※その他の記述

企業関係者、社会教育関係者、地元経済団体代表、
県立高等学校事務長、公立幼稚園会、小学校長会、
中学校長会、高等学校長会、特別支援学校長会等

- ◆名簿を公開している
県市数：7 県市

「指標又はそれに類するもの」
(以下「指標」と記載)

指標

- ◆ 「ある」と回答した県市
30 県市（45%）
 - ・ 協議会あり・指標あり：14 県市
 - ・ 協議会でオーソライズして指標を
作成した県市：7 県市

「教員研修計画又はそれに類するもの」 (以下「研修計画」と記載)

研修計画

◆ 「ある」と回答した県市：
54 県市（81%）

教員研修計画あり・指標あり：28 県市

教員研修計画あり・指標なし：26 県市

教員研修計画あり・協議会あり・指標あり：13 県市

アンケート調査結果から読み取れる傾向

アンケート調査結果から読み取れる傾向

- 教員研修計画を作成している県市は8割程度にのぼるが、その中で指標を作成している県市は半数程度である
- 協議会を設置している県市は約1/3であるが、協議会において指標をオーソライズして作成している県市は少ない
- 指標の内容に関しては、文部科学大臣指針に示されている内容は概ね網羅されているが、特別な配慮を必要とする幼児・児童・生徒への指導に関する事項が明示されている県市は少ない

「指 標」について

「指標」のバリエーション

- 経験年数別に作成
- キャリアステージ別に作成
(経験年数別は示さず)
- 職種別に作成
- その他・不明

「指標」の形式のパターン例

- ・ 項目別に教職経験年数ごと（又はステージごと）に求められる資質能力を記述しているもの
- ・ 教職経験年数ごと（又はステージごと）に全般的に求められる資質能力を記述しているもの
- ・ 職種ごと（又は教員・管理職別）に求められる資質能力を記述しているもの
- ・ 教員として全般的に求められる資質能力を記述しているもの

「指標」における項目の例

- ① 学習指導力
- ② 生徒指導力・進路指導力
- ③ 外部との連携・折衝力
- ④ 学校運営力・組織貢献力

「指標」における項目の例

- ①教科等指導
- ②学級経営等
- ③生徒指導
- ④ふるさと教育・キャリア教育・情報教育
- ⑤学校経営

「指標」における項目の例

【学校の教育力を構成する実践力】

- ①授業力
- ②生徒指導力
- ③子ども理解
- ④学校を支える力

【実践力の基盤となる意欲・人間性等】

- ⑤教育への情熱
- ⑥たくましい豊かな人間性
- ⑦自己研鑽力

「指標」における項目の例

I 教員としての基盤

- ①使命感・情熱
- ②高い倫理観
- ③人間的な魅力
- ④社会性・識見
- ⑤向上心

II 実践的指導力 授業づくり

- ①カリキュラム・デザイン
- ②授業構想
- ③授業実践・評価・改善
- ④授業研究
- ⑤情報管理

III 実践的指導力 学級づくり

- ①児童生徒理解
- ②学級づくり・教室経営・組織経営
- ③生徒指導・教育相談
- ④危機管理・安全管理
- ⑤配慮を要する児童生徒の理解と支援

IV 学校運営力 学校づくり

- ①コミュニケーション
- ②職員間の円滑交流・意思の疎通
- ③OJT推進・自己啓発・人材育成
- ④危機管理・安全管理
- ⑤コンプライアンス
- ⑥協働型学校評価・教育課程の編成
- ⑦地域連携・ネットワーク

「指標」における項目の例

- 教員
 - I 基盤となる資質
 - II 確かな指導力
 - III 同僚、家庭・地域とつながる力
- 校長、副校長・教頭
 - I 基盤となる資質
 - II マネジメント力
 - III 家庭・地域とつながる力

「指標」における項目の例

■ 若手教員

- ①学習指導力
- ②生徒指導力
- ③外部連携力
- ④組織参加力

■ 中堅教員

- ①教科専門性
- ②領域専門性
- ③企画立案力
- ④後進指導力

■ ベテラン教員

- ①高度な教科専門性
- ②高度な領域専門性
- ③確かな企画立案力
- ④豊かな後進指導力

■ 管理職

- ①学校経営力
- ②外部交渉力
- ③人材育成力
- ④高い見識

「指標」等の作成に当たっての課題

- 教育委員会と大学とが連携・協働する場の構築
 - 「協議会」の設置又は「協議会」の組織の改善
 - 文部科学大臣指針の内容の吟味、検討
 - 「指標」の内容を踏まえた「教員研修計画」の作成
 - 都道府県と中核市等との連携
- e t c .

教職員支援機構による助言の内容

教職員支援機構による助言の内容

- 育成協議会・指標・研修計画に関する疑問点、策定上の課題、内容の方向性等について、当機構のホームページ上に相談窓口を設置
- 各都道府県市からの相談内容に対する回答をQ&A方式で提示
- 各都道府県市における育成協議会・指標・研修計画の設置・策定状況に関する調査を実施し、最新の情報を提供

教職員支援機構による助言の内容

- 育成協議会・指標・研修計画に関する研究開発プロジェクトを実施し、その成果を提供
- 育成協議会・指標・研修計画に関するセミナー等の開催

教員育成指標の策定等に関する アンケート調査結果

ありがとうございました



独立行政法人教職員支援機構